

●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——情報理論とその応用小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

情報理論とその応用小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌、IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciencesにおいて、情報理論とその応用小特集“Special Section on Information Theory and Its Applications”を平成25年12月号に掲載する予定で企画しております。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集致します。特に、2012年10月28日(日)~10月31日(水)にハワイ・ホノルルで開催される「2012 International Symposium on Information Theory and its Applications (ISITA2012)」及び、2012年12月11日(火)~14日(金)に大分県別府市で開催される「第35回情報理論とその応用シンポジウム」(SITA2012)における発表論文の積極的な御寄稿を期待しております。

なお、同名同目的の小特集は、1991年より毎年1回掲載されており、近年では、2010、2011年の各11月号、2012年12月号(予定)に掲載されております。

1. 対象分野

情報理論に関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野並びに応用分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは2ページ程度とします。査読後の再提出(条件付採録)の場合は、論文修正の期間が通常の60日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成25年2月8日(金)(必着)

4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(Word/TeX)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で[Special-EA] Information Theory and Its Applicationsを選択して下さい。[Regular-EA]を決して選択しないで下さい。

手順2: 印刷した投稿者チェックリスト及びコピーライトトランスファフォームにサインをしたものを論文投稿締切日である、平成25年2月8日(金)までに下記送付先へ郵送・FAX・メール添付のいずれかで送付して下さい。締切日までにこれらの書類が届かない場合、投稿が取り下げになることがあります。

5. 小特集編集委員会

委員長 和田山 正(名工大)

幹事 野村 亮(専修大)

委員 岩田賢一(福井大)、岩本 貢(電通大)、白田 毅(愛知県立大)、内川浩典(東芝)、岡本英二(名工大)、落合秀樹(横浜国大)、笠井健太(東工大)、楯勇一(奈良先端大)、桑門秀典(神戸大)、小嶋徹也(東京高専)、斎藤秀俊(工学院大)、渋谷智治(上智

大)、西新幹彦(信州大)、野上保之(岡山大)、松井一(豊田工大)、三村和史(広島市大)、三宅茂樹(NTT)、村松 純(NTT)、八木秀樹(電通大)、渡辺 峻(徳島大)

6. 投稿書類送付先及び問合せ先

野村 亮 専修大学ネットワーク情報学部

〒214-8580 川崎市多摩区東三田2-1-1

E-mail: nomu@senshu-u.jp

TEL [044] 911-1261, FAX [044] 900-7813

7. 付記

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員である必要があります。入会の案内は<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>を御覧下さい。

*採録された場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。著者には50部の別刷りが配布されます。

*採択件数が多い場合、平成26年1月号に掲載となる場合があります。

——VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集編集委員会

最近のVLSI技術の目覚ましい発展によって、西暦2025年にはDRAMハーフピッチが8nmに迫り、数十兆個のトランジスタが1チップに搭載されるといわれています。これに伴い、VLSIチップの設計はますます複雑化、大規模化し、VLSI設計における諸問題に総合的に取り組むことが不可欠となっています。また、今後のシステムLSIを設計する上で、デジタル・アナログ混載技術など様々な技術の融合が不可欠です。VLSI応用としての並列・分散アルゴリズムをはじめ、VLSI設計のための方法論、機能設計からレイアウト設計に至る各種CAD手法、更に、それらを支える基本アルゴリズム及びデータ構造を対象分野とする質の高い論文を小特集として出版し、今後のVLSI関連分野の研究の更なる発展を図るべく、本小特集を企画致しました。本小特集(平成25年12月号)では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、ASP-DAC 2013での発表論文の積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

VLSI設計方法論、VLSIアーキテクチャ、コデザイン、機能合成、論理合成、低消費電力設計、シミュレーション(機能、論理、回路、プロセス、デバイスなど)、形式検証、レイアウト検証、テストパターン生成、テスト容易化設計、フロアプラン、配置、概略配線、詳細配線、アナログ回路設計、セル/モジュール設計、システムレベル設計、その他VLSI設計とCADアルゴリズムに関連する分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは刷り上がり2ページ程度とします。詳細はInformation for Authors(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)を御参照下さい。著者のうち少なくとも1名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿はhttps://review.ieice.org/regist_e.aspxで行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”について

ては“[Special-EA] VLSI Design and CAD Algorithms”を選択して下さい。間違えて“[Regular-EA]”を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement (要サイン)”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先(編集幹事)まで郵便, FAX, 電子メール等でお送り下さい。必ず電子投稿時に振られた Temporary ID を明記願います。

- ・初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (Word/TeX), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。
- ・条件付採録の場合, 再提出期間が6週間程度と短いことをあらかじめ御了承下さい。
- ・採録論文数が多くなった場合には, 一部次号に掲載される可能性があります。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着 (電子投稿, copyright transfer, confirmation sheet 全て)

4. 書類送付先及び問合せ先

瀬戸謙修 東京都市大学工学部電気電子工学科
〒158-8557 世田谷区玉堤 1-28-1
TEL [03] 5707-0104 (2801), FAX [03] 5707-1229
E-mail : kseto@tcu.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 宇佐美公良 (芝浦工大)
幹事 樋上喜信 (愛媛大), 瀬戸謙修 (東京都市大)
委員 尼崎太樹 (熊本大), 池田 誠 (東大), 石原 亨 (京大), 伊藤和人 (埼玉大), 岡田健一 (東工大), 梶原誠司 (九工大), 金子峰雄 (北陸先端大), 川口 博 (神戸大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 小林和淑 (京都工繊大), 柴田裕一郎 (長崎大), 瀧谷利行 (富士通研), 宋 天 (徳島大), 高木一義 (京大), 高島康裕 (北九州市大), 高橋篤司 (東工大), 竹中崇 (NEC), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 中村祐一 (NEC), 橋本昌宜 (阪大), 浜口清治 (島根大), 樋口博之 (富士通研), 廣瀬哲也 (神戸大), 松本剛史 (東大), 三浦幸也 (首都大東京), 湊 真一 (北大), 南 文裕 (STARC), 山下 茂 (立命館大), 山田晃久 (シャープ), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)

——ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術 小特集 (英文論文誌 B) 論文募集——

ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術小特集 編集委員会

近年, MIMO, LTE, Body Area Network, メタマテリアル, 無線電力伝送などに関して, アンテナ・伝搬分野の新しいテーマの研究が多岐にわたって進展しています。これらを背景にし, 2012 年 10 月に名古屋市にて開催される本会通信ソサイエティ主催のアンテナ伝播国際シンポジウム (International Symposium on Antennas and Propagation) ISAP2012 で発表された優秀論文の投稿を期待するとともに, アンテナ・伝搬関連分野の最先端技術に関する一般投稿の募集も同時に広く行い, この分野の更なる発展・活性化を図るため, 英文論文誌 B 分冊において本小特集 (2013 年 10 月号掲載) を企画致します。

1. 対象分野

この小特集では, MIMO, LTE, PAN/BAN や無線電力伝送などの近年の進展の目覚ましいアンテナ・伝搬技術, 及び, その関連分野を対象とします。近年注目されているメタマテリアル等を含めた電磁界理論関連テーマや, それらのアンテナ応用も対象とします。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は, 原則として, 刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。また, レターは受け付けません。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-EB] Recent Progress in Antennas and Propagation in Conjunction with Main Topics of ISAP2012” を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を, 論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合, 投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2013 年 1 月 21 日 (月) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

広川二郎
東京工業大学大学院電気電子工学専攻
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-S3-20
TEL [03] 5734-2567, FAX [03] 5734-2901
E-mail : ap_ac-isap2012ss@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員 長 新井宏之 (横浜国大)
幹事 広川二郎 (東工大), 高橋 徹 (三菱電機)
編集委員 岩井誠人 (同志社大), 高橋応明 (千葉大), 今井哲朗 (NTT ドコモ), 稲沢良夫 (三菱電機), 石井望 (新潟大), 大館紀章 (東芝), 西森健太郎 (新潟大), 辻 宏之 (NICT), 榊原久二男 (名工大), 本間尚樹 (岩手大)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)

小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)

小特集編集委員会

エレクトロニクスソサイエティでは、英文論文誌 C 分冊において「機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)」小特集「Special Section on Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2012 (IS-EMD2012) and other recent research results—」を平成 25 年 9 月号に発行する予定です。

最近の電子機器はデジタル化、小形化、高速化などの点で目覚ましい発展を遂げていますが、それらは、その基盤技術としての電気・光信号の接触・接続技術の着実な進歩によって裏付けられています。更に、最近では、MEMS などのマイクロエレクトロニクスからナノスケールエレクトロニクスへの技術の進展に伴う超小形機構デバイスでの接触現象が重要な研究課題になる一方で、自動車のエレクトロニクス化の進展や直流給電技術の実用化への対応が求められるなど、新しい局面での基礎研究や技術開発も活発となっています。また、環境問題では、鉛フリーのはんだ材料や、カドミウムフリーの接点材料の開発が期待されており、リサイクル (Recycle)、リユース (Reuse)、リデュース (Reduce) の 3R による環境調和技術が要求されています。

このような基盤技術としての機構デバイス分野の大きな変化並びに発展を受けて、電子情報通信学会機構デバイス研究会が中心となり、この分野の情報を世界に発信していく目的で、2001 年に国際セッション (International Session on EMD) を発足させました。今回は平成 24 年 11 月 30 日から開催される第 12 回国際セッション (IS-EMD2012) に合わせて、この小特集を企画しました。

この小特集では主として IS-EMD2012 で発表された論文の投稿を歓迎しますが、そればかりでなく、機構デバイスに関係したあらゆる分野の論文の投稿を広く募集します。

1. 対象分野

機構デバイス、信号の接続に関連する分野：

基礎研究：接触に関する表面科学と技術、アーク放電現象、トライボロジー、実装技術、光接続技術、信頼性、評価計測、マイクロマシーニングと MEMS/NEMS 技術

デバイス：リレー、電気及び光スイッチ、電気及び光コネクタ、開閉接触部品、ヒューマンインタフェースデバイス、アレスタ、フューズ、小形モータ等の電気-機械トランスデューサ及びアクチュエータ

材 料：コンタクト材料、ばね材料、めっき、モールド材料、はんだなど

応 用：環境調和問題、高周波伝送・EMC 問題、Pb・Cd フリー、リサイクル、リユース、リデュース技術など

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。ただし、論文は刷り上がり 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内とします。詳細は、The Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出 (条件付採録) の場合は通常の 60 日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお、登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-EC] Recent Development of Electro-Mechanical Devices (IS-EMD2012)” を選択して下さい。“[Regular-EC]” を選択しないで下さい。

手順 2：著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 1 月 4 日 (金) 必着

5. 送付先及び問合せ先

幹事 久我宣裕

横浜国立大学大学院工学研究院電気電子ネットワークコース

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4279, FAX [045] 339-1157

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 井上 浩 (秋田大)

幹事 久我宣裕 (横浜国大)

委員 阿部宜輝 (NTT), 上野貴博 (日本工大), 梅村 茂 (千葉工大), 小林達郎 (沖センサデバイス), 澤孝一郎 (日本工大), 関川純哉 (静岡大), 高見幸二 (オムロン), 玉井輝雄 (エルコンテックコンサルティング), 長瀬 亮 (千葉工大), 長谷川 誠 (千歳科技大), 服部康弘 (住友電装), 林 優一 (東北大), 吉田 清 (日本工大)

7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——画像符号化・映像メディア処理レター特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

画像符号化・映像メディア処理レター特集編集委員会

新しい映像符号化方式 HEVC (High Efficiency Video Coding) がいよいよ規格化間近であり、新しい画像符号化技術の研究が活発に行われています。自由視点映像、ライフログ、インターネットの動画共有サイト、物体識別・追跡など映像メディア処理の研究もますます発展し、携帯電話での動画撮影や動画処理、HDTV を超える超高精細映像、超解像技術、3D テレビなど次々と実用化されています。

和文論文誌 D では、画像符号化・映像メディア処理に関するレター特集を平成 19 年度 7 月号で初めて発行し、その後 6 年間にわたり特集を発行しています。次年度も同様のレター特集 (平

成 25 年 9 月号) を企画致しました。PCSJ2012/IMPS2012 で発表された研究のみならず、画像符号化及び映像メディア処理に関連する研究について着想段階の研究アイデアも含めて多くの方々からの積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

・画像符号化分野

符号化基礎／画質評価、静止画像符号化、動画像符号化、標準方式関連技術、動き補償、可変長／エントロピー符号化、領域分割／特徴抽出、オブジェクトベース／モデルベース符号化、ステレオ／多眼／三次元／自由始点映像符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化ハードウェア／ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

・映像メディア処理分野

映像処理基礎、自由視点映像、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成／CG／制作、画像の処理／認識、擬人化エージェント、HCI のための画像／処理／認識、映像処理 VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成／復元、動画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、ライフログ、生活支援、その他

2. 論文の執筆と取扱い

本特集では、レターのみを受け付けます。フルペーパー（論文）の募集は致しません。原則として刷り上がり 2 ページでの投稿をお願いします。また、5 ページ以上の投稿は受け付けられないので御注意下さい。その他の投稿の規程につきましては、「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。

特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また、採録レター数が特集号の予定を超えた場合は通常のレターとして掲載される場合がありますので御了承下さい。

3. 投稿締切日 平成 24 年 12 月 14 日（金） 必着

4. 投稿方法

・電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx から仮登録をして下さい。電子投稿は PDF のみ受け付けます。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・コピーライトトランスファフォームは投稿締切日までに学会事務局に到着するようにして下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX [03] 3433-6616

E-mail: wabun-d1@ieice.org

5. 問合せ先

井口和久 NHK 放送技術研究所

TEL [03] 5494-3352, FAX [03] 5494-3197

E-mail: ie-letter@mail.ieice.org

6. 特集編集委員会

委員長 八島由幸（千葉工大）

幹事 井口和久（NHK）、久保田 彰（中大）

委員 加藤嘉明（三菱電機）、川田亮一（KDDI）、坂東幸浩（NTT-AT）、市ヶ谷敦郎（NHK）、高橋桂太（電通大）、筒口 拳（NTT）、内藤 整（KDDI 研）、浜本隆之（東京理科大）、藤井俊彰（名大）

——ソフトウェア基礎・応用特集

（和文論文誌 D）論文募集——

ソフトウェア基礎・応用特集編集委員会

ソフトウェアに関連する分野は、基礎理論から応用まで活発な研究活動が行われています。本会ソフトウェアサイエンス研究専門委員会では、ソフトウェアに関する話題を幅広く対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ、情報・システムサイエティ和文論文誌にて「ソフトウェア基礎・応用特集」（平成 25 年 11 月号）を企画致しました。ソフトウェアサイエンス研究会で発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいはこれに限らず、ソフトウェアに関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これに限らず広くソフトウェアに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願いします。

・ソフトウェア基礎理論

- ・数理論理学
- ・仕様記述と検証
- ・計算モデル
- ・並列並行システム
- ・並列分散処理
- ・実時間処理
- ・自動合成・変換

・プログラミング言語

- ・意味論
- ・処理系

・ソフトウェア工学

- ・要求分析・獲得
- ・設計方法論
- ・テスト法
- ・メトリクス
- ・プログラムコード解析
- ・プロセスプログラミング
- ・CASE
- ・セキュリティ
- ・分散 OS
- ・実時間 OS

・理論の実践

・ソフトウェア教育

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 25 年 2 月 7 日 (木) 厳守

5. 特集編集委員会

委員長 中島 震 (NII)
幹事 岡野浩三 (阪大), 高田喜朗 (高知工科大)
委員 阿萬裕久 (愛媛大), 桑原寛明 (立命館大), 小林隆志 (名大), 関 浩之 (奈良先端大), 中田明夫 (広島市大), 中西恒夫 (九大), 中村匡秀 (神戸大), 肥後芳樹 (阪大), 結縁祥治 (名大), 鷺崎弘宜 (早大)

6. 問合せ先

岡野浩三 大阪大学大学院情報科学研究科
E-mail: okano@ist.osaka-u.ac.jp

——ソフトウェアエージェントとその応用特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

ソフトウェアエージェントとその応用特集編集委員会

情報処理の代行やその支援、自律的・協調的な問題解決、インターネット情報検索や統合など広範な分野においてソフトウェアエージェントに関する研究開発が活発に行われています。本会人工知能と知識処理研究専門委員会では、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会のエージェント関連研究会と共催で「合同エージェントワークショップ&シンポジウム (JAWS)」を開催し、エージェントに関する先進的な研究成果を発表する場を提供しています。これまでその前身となるシンポジウムも加え、9回にわたり連動した論文特集を企画編集してきました。これを踏まえ、平成 23 年に引き続き、情報・システムサイエティ和文論文誌にて「ソフトウェアエージェントとその応用特集」(平成 25 年 12 月号)を企画致しました。合同エージェントワークショップ&シンポジウムで発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいはそれに限らずエージェント技術に関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

以下のテーマに関する論文投稿を期待していますが、これに限らずソフトウェアエージェント技術に関する幅広い分野の論文を募集します。

ソフトウェアエージェントの応用に関わる概念・技術・事例

- ・情報の収集・統合・流通
- ・モバイル通信支援
- ・コミュニティウェア/ソーシャルウェア
- ・インターネット応用システム
- ・協調作業支援
- ・ネットワーク管理・運用
- ・Web ベースドトレーニング
- ・社会システム/コミュニケーションへの応用
- ・電子商取引
- ・ソフトウェア工学への応用

論文特集原稿募集

など

ソフトウェアエージェントとその応用を支える概念・理論・技術

- ・基礎理論
- ・エージェント間通信プロトコル
- ・エージェントアーキテクチャ
- ・エージェント記述言語
- ・エージェント協調技術
- ・エージェント処理系/フレームワーク

など

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

和文 http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファフォームは、論文投稿締切日である平成 25 年 2 月 10 日 (日) までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

和文 https://review.ieice.org/regist_j.aspx

・仮登録完了時点で「Completion of Temporary Registration+仮登録番号」が申込者にメールにて送付されます。本メール内に記載してある URL にアクセスすることにより、論文原稿のアップロードが行えます。投稿締切日までに必ず原稿をアップロードして下さい。締切日までにアップロードされなかったものについては、取下げとみなす場合があります。ただし、学会事務局で投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファフォーム受領後、本登録作業を完了した場合はアップロードができなくなります。その際には学会事務局 (wabun-d1@ieice.org) まで御連絡下さい。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載する場合があることを御了承下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-d1@ieice.org

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 10 日 (日) 厳守

4. 問合せ先

栗原 聡 大阪大学産業科学研究所
TEL [06] 6879-8427, FAX [06] 6879-8428
E-mail: kurihara@sanken.osaka-u.ac.jp

5. 特集編集委員会

委員長 栗原 聡 (阪大)
副委員長 松原繁夫 (京大)
幹事 鳥海不二夫 (東大), 平嶋 宗 (広島大)
委員 菅原俊治 (早大), 村田剛志 (東工大), 松尾徳朗 (山形大), 平山勝敏 (神戸大), 福田直樹 (静岡大), 森山甲一 (阪大)